ほたる野（習志野市自然保護区）の蝶と野鳥観察会報告

* ２０１９年１１月３０日（土）親子餅つき会の参加者１９５名の内希望者１２名を４回に分けて１１時から午後１時迄本郷公園内で野鳥の観察会を実施、風がなく穏やかで最高気温１１℃でした。例年餅つき会の多くの参加者で野鳥が少ないので前日１１時半～１２時、１５時～１６時野鳥調査を実施した＊印。本郷公園の池で初めてオシドリ　１つがいが１１月５日から住みつき観察出来ました。　　　　　　　　オシドリ、カルガモ、キジバト、アオサギ＊、ダイサギ、コサギ、オオタカ＊、カワセミ、モズ＊、オナガ＊、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス＊、メジロ＊、ムクドリ、シロハラ＊、アカハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、シメ＊。合計２４種　　　　　　　　　　野鳥担当：高橋正浩。
* ２０１８年１２月１日（土）親子餅つき会ほたる野の野鳥観察会は連絡不備等で今回は中止しました。１１月１７日（土）１０時３０分から１２時最高気温20℃と１１月２９日（木）１時３０分から３時最高気温16℃、両日の野鳥調査結果です。暖冬の影響で冬鳥がまだ揃っていませんでした。

カルガモ、キジバト、ダイサギ、コサギ、タシギ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、オナガ、　　　　ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、　　ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、シメ、アオジ。合計２３種　　　野鳥担当：高橋正浩。

追記：１２月２５日（火）午後２時３０分アトリ３羽を確認しました。

* ２０１８年５月５日（土）ほたる野の野鳥観察会11時00分から午後12時15分　（鯉のぼりが心地よく泳ぐ五月晴れでした。親子田植え会の参加者１８０名の内希望者だけで実施。多くの人出で野鳥は大変少なく残念でした。蝶は担当者の体調不良で観察会未実施。千葉市最高気温23℃）　　　　　　　参加者：３７名（内２２名はボーイスカウト習志野ボーイ隊、カブ隊）

カルガモ、キジバト、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ\*、カワラヒワ＊。合計１１種（\*印：会終了後）　　野鳥担当：高橋正浩。　　　　　追記：６月２、３日休耕田でオオヨシキリが盛んにさえずっていました。

* ２０１８年２月２３日（金）12時15分から午後1時半　最高気温９℃　と　２月２４日（土）午前9時半から10時、午後1時半から2時半　最高気温13℃　ほたる野の野鳥調査（観察会未実施の為）

カルガモ、コガモ、アカエリカイツブリ、キジバト、ダイサギ、コサギ、タシギ、オオタカ、カワセミ、　チョウゲンボウ、コゲラ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、　ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、アオジ。　合計31種　　　大変珍しい　アカエリカイツブリが実籾本郷公園の池に2週間前から留まっていて25日以降は確認できていない。1月10日から毎日水の溜まった休耕田で数羽のタシギが確認できています。　　野鳥担当：高橋正浩。

* ２０１７年１２月２日（土）ほたる野の野鳥観察会１１時半から１２時半（風も無く穏やで良好な観察日和でしたが、田隣接の親子餅つき会場に多くの参加者１２０名集合の為、野鳥は少なくいつもいるムクドリさえ確認できなかった。親子餅つき会参加者で野鳥観察希望者１１名だけで実施。蝶観察は担当的場毅さん体調不良で中止。気象庁発表千葉市最高気温１２℃）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　カルガモ、キジバト、コサギ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス\*、メジロ\*、シロハラ\*、ツグミ\*、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カシラダカ\*、アオジ。　　　　合計１８種（\*印は会終了後に観察）　野鳥担当：高橋正浩。

* ２０１７年５月５日（金）ほたる野の蝶と野鳥観察会10時15分から午後1時　（そよ風ふく五月晴れの中、親子田植え会の参加者１７８名の内希望者だけで実施。多くの人出で野鳥は少なく、前日に比べ急激な気温上昇で蝶は木陰で休息し確認数は減少。気象庁発表千葉市最高気温23℃）　　　　　　　参加者：２８名（内１５名はボーイスカウト習志野２団カブ隊）

カルガモ、キジバト、コチドリ\*、コゲラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ツバメ、ヒヨドリ、　　　　　ウグイス\*、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ。合計１４種（\*印：会終了後）　　　　野鳥担当：高橋正浩。

クロアゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、キタテハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、　　　ヤマトシジミ、ベニシジミ、コミスジ。合計１０種　　（当地では大変珍しいコミスジ２匹の同時飛翔を確認）（シオカラトンボ 、ハラビロトンボ 合計２種）　　　蝶担当：的場毅

* ２０１７年３月１１日（土）ほたる野の野鳥観察会10時半から11時半（開始時は少し空気の冷たさを感じたが陽射しを浴びて春を実感出来ました。ほたる野西のコブシの花が開花しました。水田の西斜面に咲いた菜の花で１１時50分今年初めてモンシロチョウの飛翔が確認できました。気象庁発表千葉最高気温は1２℃でした。参加者２９名（内１８名は日本のプロジェクトで来た内モンゴル高校生）　　　（３月１２日午後２時２５分にも同一場所でモンシロチョウ飛翔を確認しました。）

カルガモ、キジバト、ダイサギ\*、コサギ、タシギ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、オナガ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス\*、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ\*、シメ、　　アオジ\*。　　　（\*印は会終了後に観察）　合計２０種　野鳥担当：高橋正浩。

追記：３月２３日から毎日コチドリが水をはっている田で確認できています。

* ２０１７年２月４日（土）ほたる野の野鳥観察会10時半から11時半（落葉樹はすっかり葉を落とし気温は最高気温1３℃で晴れて穏やかな観察会でした。参加者４名）

マガモ、カルガモ、コガモ、キジバト、コサギ、タシギ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、　シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ\*、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ\*、　　　スズメ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ、シメ、アオジ（\*印は会終了後に観察）合計２４種　　　　野鳥担当：高橋正浩。

* ２０１６年６月２５日（土）ほたる野の蝶と野鳥観察会　（雨上がり後強風の悪条件）参加者：１０名

カルガモ親子ヒナ7、チョウゲンボウ、カワセミ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ

ムクドリ、スズメ、合計１０種　野鳥担当：高橋正浩。

クロアゲハ、ジャコウアゲハ、カラスアゲハ、ナガサキアゲハ、キアゲハ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、

モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモン、アカタテハ（幼虫）、ヒカゲチョウ、キマダラセセリ、合計１５種　蝶担当：的場毅

* ２０１６年８月１８日（木）ほたる野の蝶と野鳥観察会　（台風一過の蒸し暑い日で稲穂が出て防鳥用猛禽類の鳴き声拡声音が発せられる悪条件：いつも確認できるムクドリさえいない）

参加者：１４名

カルガモ、アオサギ、ハシブトガラス、ツバメ、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、合計８種　　野鳥担当：高橋正浩。

　クロアゲハ、キアゲハ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、ウラギンシジミ、ヤマトシジミ、ルリタテハ、キタテハ、アカタテハ、コムラサキ、アカホシゴマダラ、ヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲ、キマダラセセリ、合計１７種　（オニヤンマ、ギンヤンマ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、ネキトンボ、合計５種）　蝶担当：的場毅

* ２０１６年１０月２９日（土）ほたる野の蝶と野鳥観察会　（前夜の降雨と大幅な気温低下で蝶の飛翔がなく蝶の観察は中止）参加者：１４名（屋敷公民館田んぼ探検隊）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　マガモ、カルガモ、コガモ、ダイサギ、カワセミ、モズ、ジョウビタキ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、スズメ、キセキレイ、合計１２種　野鳥担当：高橋正浩。
* ２０１６年１２月３日（土）ほたる野の野鳥観察会（田隣接の親子餅つき会場に多くの参加者１４１名集合の為、田に野鳥は少なく、田と池の間の林に多くの野鳥が観察されました。風もなく暖かい中、親子餅つき会参加者で野鳥観察希望者だけで実施。）

カルガモ、コガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ、シメ、アオジ、合計２６種　野鳥担当：高橋正浩。

◎２０１７年１月７日（土）ほたる野の野鳥観察会10時半から11時半（落葉樹はすっかり葉を落とし気温は10℃でしたが晴れて風もなく穏やかな観察会でした。参加者８名）（＊印は会終了後に観察）

カルガモ、コガモ、キジバト、ダイサギ、コサギ\*、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス\*、エナガ\*、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ\*、スズメ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ\*、シメ、アオジ\*、合計２４種　野鳥担当：高橋正浩。